

## 本時のねらい

- ・沖縄県の歴史を学び、現在も残る米軍基地の問題について理解を深める。
- ・沖縄県の産業・気候について調べる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Google Earth を活用することによって、沖縄県の位置や地理的条件について理解を深める。
- ・観光業が盛んである沖縄について、タブレット端末で自ら調べることによって興味を持ちながら、世界遺産に登録されている場所について学ぶ。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・大型 TV
- ・Google Earth
- ・Microsoft Forms

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄の方言にどのようなものがあるか、検索エンジンで調べる。</li> <li>○調べた方言について発表する。(数人の生徒を指名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使い、方言について調べる「なんくるないさー・ちばりよ・ドゥース」など</li> <li>・自分たちが育った環境(大阪)との違いを気づかせる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○琉球王国の建国から沖縄返還までの歴史について(琉球王国の成立・沖縄の地上戦・沖縄返還)学ぶ。</li> <li>○沖縄に現在も残る米軍基地の場所をワークシートの地図に色を塗る。</li> <li>○沖縄の家の写真(貯水タンクがある・屋根がコンクリート)を提示し、その特徴から気候や地形について考える。</li> <li>○Google Earth で沖縄全体を映し出し、台風や雨が多い地域であることを理解させる。</li> <li>○沖縄県は観光業が盛んであることから、沖縄の名所などを調べ、修学旅行で行ってみたい場所などを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦についてどのような出来事があったか、TV モニターで映像を見て理解を深める。</li> <li>・写真を提示することで身近にある家との違いを見出しやすく、思考の助けとする。</li> <li>・生徒が調べている内容を TV モニターに映し共有する。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄県について調べたことに班ごとに発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Forms を使用して発表についてクラスメイトの評価をする。(わかりやすかった・内容が良かった・おもしろかった・楽しかった)</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : Google Earth で沖縄の地形等を調べている場面

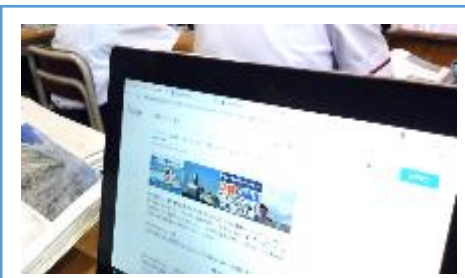


写真 2 : インターネットで沖縄県の観光について調べている場面



写真 3 : 生徒にはタブレットを見せながら、TV モニターで説明している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・タブレットで検索すると、自分が見たい場所などを拡大して見ることができ、とても分かりやすいという意見があった。
- ・自ら調べ、自ら課題を解決する場が見られるようになっていく。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・地理的分野での Google Earth の活用は、生徒の興味・関心を引くとともに地形や地理的条件を理解しやすい。
- ・タブレットを 1 人 1 台活用することにより、自ら調べたいところを探究することができ、学びがより深いものとなっている。